



東地中海地域ニュース

イスラエル：イスラエル首相とPA大統領の会談 (4月16日付イスラエル紙)

4月15日、エルサレムにてオルメルト・イスラエル首相とアッバース・パレスチナ大統領との首脳会談が行われた。

1. アッバース大統領は、シナイ半島からの武器密輸を防止する為ガザ地区南部のフィラデルフィ回廊沿いに、又、カッサム・ロケット発射を食い止める為にガザ地区北部に、大統領に忠実な治安部隊を展開することを約束した。外務省筋によれば、イスラエルはアッバース大統領に忠実な治安部隊の訓練及び武装を目的としたデイトン米治安調整官との連携による「デイトン計画」を支持している。
2. 同首脳会談に参加したイスラエル軍（IDF）将校は、IDFは現在までに西岸地区の44箇所の路上バリケードを撤去したが、次の段階として追加的な17箇所のバリケードを撤去する予定と説明した。情報筋によれば、パレスチナ側がより多くのバリケードの撤去を要求したのに対し、オルメルト首相はその意思はあると答えた。
3. オルメルト首相よりアッバース大統領に対し、4月16日よりカルニ通行所はガザ地区からの物資の輸出を促進する為に、時間を延長して2交代制で運営されることを告げた（注：これまで夜7時に閉鎖されていたが、今後は夜11時までとなった）。
4. オルメルト首相は、イスラエルはガザ地区とエジプトの国境沿いにあるラファハ通行所の活動におけるEUとの合意を延長し、同通行所を週のうち数日間連続して開く予定であると述べた。
5. オルメルト首相はアッバース大統領に対し、10ヶ月前にガザで誘拐されたシャリート兵士の解放に更なる努力を求めた。
6. 情報筋によれば、オルメルト首相は難民問題及びエルサレム帰属などの将来のパレスチナ国家に関する主要な争点となっている問題の詳細に入るのを避けるよう努めたが、パレスチナ国家の一般方針については、アッバース大統領と協議するのを厭わなかった。
7. オルメルト首相は、サウジアラビアによる和平提案に関する対話をアラブ連盟と開始することに関して、「サウジ・イニシアティブには建設的な側面がある。自分は彼らの考え方を喜んで聞かだろ。我々は、アラブ側の提案を議論する用意がある。」と述べたが、ある一定の立場を受け入れるという前提のないことを強調した。
8. オルメルト首相は、隔週ごとの会合は交互の地で開催されるべきとのライス米 국무長官の提案を受けて、次回の会合はジェリコで開催することを望むと述べた。